

2019年度

# おおよど遺産

## パンフレット



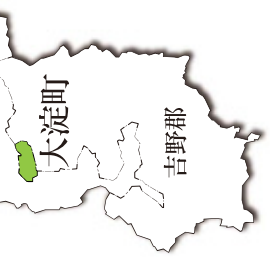
# 奈良県大淀町

# 2019年度おおよど遺産マップ



◆は2019年度のおおよど遺産です。  
●は2018年度、●は2017年度のおおよど遺産です。

No.	名称	No.	名称	No.	名称
61	吉野川分水	68	桧垣本村の古絵図	75	金箔貼り・金箔振り
62	甲神社の秋祭り	69	桧垣本のオン塚	76	新野八幡神社
63	山村の原風景	70	福田惇の記録映像	77	世尊寺の花木
64	弁天さん	71	カヤの巨樹	78	放光仏
65	芦原峠	72	太玉神社	79	大北作治郎
66	忠魂碑	73	長胴太鼓	80	吉野鉄道の遺産
67	安西冬衛の詩碑	74	活版印刷の道具		No.61~80は2019年度のおおよど遺産です



奈良県地図

## 2019年度おおよど遺産リスト

No.	名称	分類	地域	選定年月日	備考
61	吉野の水を国中へ 吉野川分水	近現代	今木・下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
62	ススキ提灯で心一つに 甲神社の秋祭り	民俗	今木	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
63	心にのこそう 山村の原風景	景観	鉾立・持尾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
64	水の神、時々、幸福の女神 弁天さん	名所	岩壺・馬佐	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
65	のこされた街道の記憶 芦原峠	名所	芦原	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
66	のこされた戦争の記憶 忠魂碑	近現代	下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
67	下市口にて 安西冬衛の詩碑	もの	下湊	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
68	農を支えた水利システム 桧垣本村の古絵図	もの	桧垣本	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
69	ここで旗を振った 桧垣本のオシ塚	民俗	桧垣本	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
70	プレイバック昭和 福田惇の記録映像	近現代	土田	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
71	この一本がのこった カヤの巨樹	自然	畑屋	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
72	奥越部に忌部の里 太玉神社	名所	越部	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
73	世々に時を告げながら 長胴太鼓	もの	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
74	吉野の近代化を下支え 活版印刷の道具	もの	新野	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
75	日本古来の伝統的な技 金箔貼り・金粉振り	わざ	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
76	氏神さんはお産の女神 新野八幡神社	名所	新野	2020年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
77	花と緑に包まれて 世尊寺の花木	自然	比曾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
78	縁起絵巻は物語る 放光仏	もの	比曾	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
79	大淀町の名付け親 大北作治郎の遺産	近現代	増口	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
80	線路は続くよいつまでも 吉野鉄道の遺産	近現代	大淀町内各地	2020年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字今木 <sup>いまき</sup> ・下湊 <sup>しもぶち</sup>
③ 名称			
<p>よしの みず くんなか よしの がわぶんすい  <b>吉野の水を国中へ 吉野川分水</b></p>			
④ 説明			
<p>吉野の水を国中（大和盆地）へ。「吉野川分水」への願いは、江戸時代以来の願いでした。それが実現したのは昭和31年（1956）7月の事。吉野川の水を取り込む水門「下湊頭首工」は、昭和49年（1974）3月に完成しています。ここで取り込まれた水は、6月から9月にかけて専用の水路へと送られ、北方の山中を貫くトンネル（導水隧道）に入り、今木地区で再び顔を出します。そして、またトンネルを抜けて御所市樋野で調整され、大和盆地の各地へと分水されていきます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="217 1176 837 1525">  </div> <div data-bbox="871 1176 1377 1845">  </div> </div> <p data-bbox="248 1749 459 1827">下湊頭首工（左） 今木導水路（右）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>いまき</sup> 今木
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <sup>ちょうちん</sup> <sup>こころひと</sup> <sup>かぶとじんじゃ</sup> <sup>あきまつ</sup>              ススキ提灯で心一つに 甲神社の秋祭り         </p>			
④ 説明			
<p>今木地区の氏神・甲神社は、飛鳥時代の大豪族・蘇我入鹿（そがのいるか）の甲をまつっていると伝えます。毎年10月に行なわれる甲神社の秋祭りは、前日の宵宮（ヨミヤ）から始まります。夜のとばりが下りる頃、太鼓の音とともに、明かりを灯した高さ約4mのススキ提灯が、9つの垣内（カイト）から集い、社殿のまわりを囲みます。祭典後には地元子ども会による巫女舞、太鼓演奏の奉納と続き、翌朝の本祭にむけて、みんなが心を一気にします。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="226 1263 844 1724" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="855 1270 1355 1550" style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">             甲神社の鳥居（左）              秋祭り・宵宮（右）         </p>			
⑥ 連絡先	今木区（区長）		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>ほこたて</sup> 銚立・ <sup>もちお</sup> 持尾
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <small>こころ</small>              心にのこそう      <small>さんそん げんふうけい</small>              山村の原風景         </p>			
④ 説明			
<p>大淀町内には、心にのこしたい山村の原風景があります。たとえば町の北西部、銚立川の源流に位置する銚立地区は、石垣のうえに人家が点在する小さな村。谷奥の蓮池から、鳥の声をBGMにして眺める風景は、たとえようのない美しさです。町北部の持尾地区も、南にひらけた高原性の山村。最北部の高台にある金蓮寺から南を望む景観は、大峯連山を一望できる絶好のスポット。まるで天空の里に来たかのような感動を味わうことができます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">             銚立・蓮池から西を望む（左）              持尾・高台から南を望む（右）         </p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>いわつぼ</sup> 岩壺・ <sup>ばさ</sup> 馬佐
③ 名称			
<p>みず <sup>かみ</sup> <sup>ときどき</sup> <sup>こうふく</sup> <sup>めがみ</sup> <sup>べんてん</sup>  <b>水の神、時々、幸福の女神 弁天さん</b></p>			
④ 説明			
<p>弁天（弁財天）は、仏を守る神「天部」の一つ。雨水をつかさどる龍神、財宝や芸能の守護神、七福神の紅一点「弁天さん」としても知られています。町内では岩壺・馬佐地区に弁天社があります。高台に建つ岩壺の弁天社（巖島神社）は、約680年前の文献に「和州岩坪弁財天」の名で登場し、今でも遠方からの参拝者があります。馬佐の氏神・天照神社本殿脇にある弁天社は、かつて集落東方の山中（尾ノ上）にありましたが、次代への継承を思いに、2016年現地へ遷座しました。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">岩壺の弁天社（左）と馬佐の弁天社（右）</p>			
⑥ 連絡先	岩壺区・馬佐区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>あしはら</sup> 芦原
③ 名称			
<p style="text-align: center;">かいどう き おく あしはらとうげ          のこされた街道の記憶 芦原峠</p>			
④ 説明			
<p>芦原地区は、国中の高取方面と吉野を行き交う街道（今の国道 169 号線）沿いにできた集落。かつての芦原峠（標高約 310m）は厳しい道で、S 字カーブの急勾配を花見客のバスがエンジンをふかせて往来していました。昭和 40 年（1965）3 月、芦原トンネル（延長 770m）が開通。往還はスムーズになり交通量も増大しました。峠の旧道はその役割を終えましたが、国道沿いには旅人たちを見守る行者堂があり、にぎやかだった峠の村の記憶は今も消えることはありません。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">             芦原トンネル（左上）              芦原行者堂（右上）              芦原行者堂横の庚申さん（右下）         </p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		



① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字下 <sup>しもぶち</sup> 淵
③ 名称			
<p style="text-align: center;">せんそう きおく ちゅうこんひ          のこされた戦争の記憶 忠魂碑</p>			
④ 説明			
<p>下淵地区の共同墓地にある高さ3.1mの忠魂碑。明治時代以来、国を守った郷土の兵士（戦没者）に感謝の意を込めて建てられたものです。昭和7年（1932）、町立大淀第二小学校（現町立大淀桜ヶ丘小学校）の校庭内に、町の在郷軍人会が中心となって建てた忠魂碑は、昭和20年（1945）の終戦後に撤去されましたが、昭和28年（1953）に再建。平成15年（2003）、今の場所に移設されました。現在、町戦没者遺族会を中心に、慰霊碑として大切に守り伝えられています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="text-align: right;"> <p>忠魂碑・裏（右）              忠魂碑・表（左）</p> </div> </div>			
⑥ 連絡先	町戦没者遺族会・町教育委員会		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>しもぶち</sup> 下淵
③ 名称			
<p>しもいちぐち      あんざいふゆ え      し ひ          下市口にて      安西冬衛の詩碑</p>			
④ 説明			
<p>下淵地区にある町中央公民館のロビーに、大きな春日杉の切り株があります。そのウロになった部分に、散文詩「下市口にて」の一節を記した詩碑が埋め込まれています（揮毫者は町在住の書家・西浦雪華さん）。詩の作者は、大阪で活躍した詩人・安西冬衛（1898-1965）。昭和 16 年（1941）の夏の夜明け前、下市口駅は吉野杉の香りがただよう静かな空間でした。列車を待つ冬衛は 12 歳の長男と共に駅前の風景を見、その印象を言葉にしました（詩集『大学の留守』1943 年所収）。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px; writing-mode: vertical-rl;">             安西冬衛の誌碑「下市口にて」         </div> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		



① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>ひがimoto</sup> 桧垣本
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <sup>はた</sup> <sup>ふ</sup> <sup>ひがimoto</sup> <sup>づか</sup>              ここで旗を振った 桧垣本のオシ塚         </p>			
④ 説明			
<p>桧垣本地区にある、関西電力（株）吉野技術サービスセンター南東側の、田のあぜ道に残る小さな高まり。「オシ塚」と呼ばれているこの場所は、西の高台にある桧垣本八幡神社の「伏拝所」と伝えられています。その由来は、昔々、吉野川の洪水で川が渡れない時、近郷の人々が、この塚で旗（幣帛）が振られるのを合図に、桧垣本八幡神社の社に向かって伏し拝んだから、といひます。また、桧垣本八幡神社に参れない人々は、この塚から神社を伏し拝んで帰ったとも伝えます。</p>			
⑤ 写真			
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">オシ塚（東から）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>うった</sup> 土田
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">プレイバック</span> <span style="font-size: 1.5em; vertical-align: middle;">しょうわ</span> 昭和             <span style="font-size: 1.5em; vertical-align: middle;">ふくだつとむ</span> 福田 惇             <span style="font-size: 1.5em; vertical-align: middle;">きろくえいぞう</span> の記録映像         </p>			
④ 説明			
<p>土田地区出身の郷土史家・福田惇（1915-1997）は、文学・演劇に興味をもち、考古学が趣味でした。彼がのこした資料のなかに、昭和 30～40 年代撮影の 8mm フィルム 14 点があります。「やまと」「石仏」「大和を歩く」「大和の古墳」と名付けられた記録映像からは、失われつつあった昭和時代の大和（奈良県）の原風景をうかがうことができます。また、昭和 45 年（1970）開催の日本万国博覧会（大阪万博）を映した「EXPO'70」という貴重な記録映像もあります。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">「大和の古墳」（1971 年）より（左）、記録映像「EXPO'70」（1970 年）より（右）</p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	自然遺産	② 地域	大淀町大字畑屋 <sup>はたや</sup>
③ 名称			
<p style="text-align: center;">             いっぽん              この一本がのこった    カヤの<sup>きよじゆ</sup>巨樹         </p>			
④ 説明			
<p>畑屋地区の集落のつきあたり、ため池をこえて、さらにその奥の谷の南向きの斜面に、カヤ（榎）の巨樹が立っています。高さは目視で8m以上、幹周りは目の高さで計測して約3.3m。しっかりと根を張り、樹勢も良好です。カヤは、イチイ科カヤ属の常緑針葉樹。主に将棋や碁の盤材として用いられることが多く、この樹もそのために植えられたのが、たまたまこの場所にのこされたのかもしれませんが。カヤの巨樹は町内でも珍しく、躍動的なその姿は一見の価値があります。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="margin-top: 20px;">             カヤの木目の拡大（左）              カヤを見上げたところ（右）         </p>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>こしべ</sup> 越部
③ 名称			
<p>おくこしべ いんべ さと ふとだまじんじゃ  <b>奥越部に忌部の里 太玉神社</b></p>			
④ 説明			
<p>太玉神社は町の北部、県道今木出口線に面した、奥越部地区の宮山の中腹に鎮座しています。神社に隣接する奥田家がまつています。奥田家はかつて「忌部屋」の屋号をもっていました。忌部氏は、朝廷の神事をつかさどった古代氏族。橿原市忌部町にある天太玉（あめのふとだま）神社は、その総氏神として知られています。天太玉神社では年の暮れ、奥田家の裏山（宮山）へ正月用の門松を取りに来る風習があり、昭和38年（1963）まで続いていました（『大淀町史』1973年）。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>太玉神社の鳥居（左）          太玉神社の本殿（右）</p> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字新野 <sup>にの</sup>
③ 名称			
<p>よよ<sup>よ</sup>とき<sup>とき</sup>つ<sup>つ</sup>      なが<sup>なが</sup>どう<sup>どう</sup>だい<sup>だい</sup>こ<sup>こ</sup>          世々に時を告げながら      長胴太鼓</p>			
④ 説明			
<p>新野地区に伝わる長胴太鼓（ケヤキ製）は、行事の始まりを知らせる刻太鼓（ときだいこ）として使われてきました。その内側には、太鼓の皮の張り替えをした年月日が墨書で記されています。これによると「元文 5 年（1740）」「寛亨 3 年（寛延 3 年・1750 の書き間違いか）」「寛政 11 年（1799）」「文化 11 年（1814）」「平成 7 年（1995）」「平成 30 年（2018）」の計 6 回です。今にいたるまでの 280 年間、世々に時を告げながら受け継がれてきたこととなります。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>太鼓の木目（左）          太鼓と張り替えられた皮（右）</p>			
⑥ 連絡先	新野区（区長）		



① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字新野 <sup>にの</sup>
③ 名称			
<p>よしの きんだいか したざさ      かつぱんいんさつ どうぐ  <b>吉野の近代化を下支え 活版印刷の道具</b></p>			
④ 説明			
<p>新野地区の岡本印刷所には、吉野地域の近代化を下支えした、様々な印刷道具が保存されています。その一つ、逆さ文字を浮き彫りにした版木を使う「木版刷り」は、大正時代頃まで盛んにおこなわれていました。昭和時代には、金属製の「活字」を拾って版組みし、印刷機にかける「活版印刷」が盛行。これが印刷業に導入されたことで、大量の印刷（出版・広告）が可能になりました。この印刷所では、年季の入った活版印刷機もまだ現役で使われています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">金属製の活字（左）と活版印刷機（右）</p>			
⑥ 連絡先	新野区（区長）・岡本印刷所		

① 分類	わざ遺産	② 地域	大淀町大字 <sup>にの</sup> 新野
③ 名称			
<p>にほんこらい でんとうてき わざ きんぱくは きんぱく<sup>にの</sup>ふ  <b>日本古来の伝統的な技 金箔貼り・金箔振り</b></p>			
④ 説明			
<p>金箔は、紙のように金を薄く延ばしたものです。新野地区には、その金箔をあつかう「金箔貼り」「金箔振り」の職人・高橋正さん（68）がいます。様々な大きさの紙の素地（たとえば屏風など）に、10cm四方の金箔をのりで貼り付けていく作業が中心で、羽二重の布地を重ねて木目模様に仕上げることも、金箔の粉を素材に振りかけて仕上げることもあります。先代の父から継承し、50年以上の経験を有する高橋さんは、日本古来の伝統的な技の持主です。</p>			
⑤ 写真			
 <p style="text-align: center;">金箔職人・高橋正さん</p>			
⑥ 連絡先	新野区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字新野 <sup>にの</sup>
③ 名称			
<p>うしがみ<sup>さん</sup>めがみ<sup>に</sup>のはちまんじんじゃ  <b>氏神さんはお産の女神 新野八幡神社</b></p>			
④ 説明			
<p>新野地区の国道沿いに建つ石の鳥居。これが氏神・新野八幡神社の入口です。鳥居の前には「安産守護」の字を刻んだ石柱が立てられています。本殿の主祭神は「お産」の神とされ、祭礼のときは、御幣に米（フングリ）をくくりつけて、それでおはらいをしてもらう、あるいはその米を食べると安産になるといいます。また、氏神さんは女神だから、祭礼のときは男神がしのんでくるといい、本殿の脇（向かって右下）にシノビゴゼン（忍御膳）をお供えする風習があります。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>神社境内と本殿（左）          鳥居と石碑（右）</p>			
⑥ 連絡先	新野区（区長）		

① 分類	自然遺産	② 地域	大淀町大字比曾 <sup>ひそ</sup>
③ 名称			
<p>はな みどり つつ                      せそんじ      かほく          花と緑に包まれて      世尊寺の花木</p>			
④ 説明			
<p>上比曾地区の古刹・世尊寺の魅力の一つは、四季折々の花木です。庫裏前に赤い花をつけるハナノキは、3月の彼岸すぎに咲く珍しい木です。続いて4月は境内の桜、おくれて藤棚のフジがいっせいに咲き乱れます。5月はツツジや、あざやかな緑のなかに咲くウケザキオオヤマレンゲが、ふくよかな香りを漂わせます。初夏には樹齢 100 年を越すサルスベリの白い花が咲き、秋は境内全域が真っ赤なヒガンバナの海になります。まさに年中楽しめる、花と緑の御寺（みてら）です。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">        </div> <p style="text-align: center;">（上段左から）ツツジ・ウケザキオオヤマレンゲ・ハナノキ （下段左から）桜・ヒガンバナ</p>			
⑥ 連絡先	世尊寺		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字比叺
③ 名称			
<p>えんぎ えまき ものがた ほうこうぶつ          縁起絵巻は物語る 放光仏</p>			
④ 説明			
<p>日本に仏教が伝わった欽明朝（6 世紀）、茅渟海（ちぬのうみ・大阪湾）に漂っていた光り輝く樟（クス）で仏像が作られました。それが『日本書紀』に記す、吉野寺（比叺寺・現光寺）の「放光仏」です。江戸時代の 17 世紀後半、荒れはてた名刹復興のため、伝承を物語る上下 2 巻の「現光寺縁起絵巻」が作られました。元禄 13 年（1700）には本尊の「放光仏」が、有志の力で「再興」されました。いずれも、「吉野寺」の法灯を受け継ぐ、上比叺地区の世尊寺に伝わっています。</p>			
⑤ 写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			
<p>放光仏を彫る（「現光寺縁起絵巻」より・左） 世尊寺本尊の放光仏（阿弥陀如来坐像・右）</p>			
⑥ 連絡先	世尊寺		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字増口 <small>ましぐち</small>
③ 名称			
<p>おおよどちょう なづ おや おおきたさくじろう いさん  <b>大淀町の名付け親 大北作治郎の遺産</b></p>			
④ 説明			
<p>増口地区出身の大北作治郎（1843-1901）は、大淀町の前身・大淀村（1889-1921）の名付け親で、奈良県議会や衆議院議員として活躍しました。郷土の発展に尽力しただけでなく、書をよくする文化人としても知られ、「温」「桂峯」の雅号をもっていました。また梅の花を愛し、自宅の庭に梅を数百株植えて「梅山人」とも称したそうです。増口には、彼の住まいや山荘として造った茶室が現存し、吉野神宮境内にも彼を讃える顕彰碑（1903年建立）がのこされています。</p>			
⑤ 写真			
<div data-bbox="395 1196 1203 1800" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="608 1827 968 1863" data-label="Caption"> <p>大北作治郎の茶室「迎春庵」</p> </div>			
⑥ 連絡先	町教育委員会		



# 2016～2018年度 おおよど遺産リスト



下渚・石塚遺跡の現状 (No.49・2018年度選定おおよど遺産)



2016～2018年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
1	オカリヤをたてる 御霊神社の秋祭	民俗遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
2	潮の香りと弥生人の記憶 佐名伝銅鐸	もの遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
3	梨の花香る里山 大阿太高原	景観遺産	佐名伝・薬水	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
4	大正浪漫のタイムトンネル 薬水門	近現代遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
5	薬水の由来 弘法井戸	名所遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
6	おおみそかの送り火 牛と馬のトンド	民俗遺産	今木	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
7	天まであがれ 大岩のトンド	民俗遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
8	アメタンモレの伝承 大日如来と大岩神社の神像	もの遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
9	蓮のつぼみを抱えた大日如来	もの遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
10	ワッタイヨーで強くなれ 子ども相撲	民俗遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
11	村の庄屋の物語 迎居家の文化遺産	もの遺産	持尾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
12	お正月の風物詩 カンジョウカケ	民俗遺産	畑屋	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
13	忠臣小金吾 伝説をものがたる石塔	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
14	能楽お囃子のふるさと 桧垣本八幡神社	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
15	張子の仏に願いを込めて 桧垣本釈迦堂	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
16	安佐寺ゆかりの仏たち 馬佐薬師堂	名所遺産	馬佐	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
17	吉野最大級 北六田の木造倉庫群	近現代遺産	北六田	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
18	ふるさとを見守る ムクノキの巨樹	自然遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
19	子どもに恵まれますように 上比曾のいのこ	民俗遺産	比曾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
20	椿井の杜の鎮守さま 水分神社	名所遺産	増口	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2016～2018年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
21	ほとけの心とやさしい言葉 花岡大学の童話作品	もの遺産	佐名伝	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
22	氏神さんに祈る日々 戦勝祈願の絵馬	近現代遺産	薬水	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
23	こもればはふるさとの灯 車坂古道	名所遺産	今木・下渚	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
24	近代化を支えた和漢薬 大岩の薬業遺産	近現代遺産	大岩	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
25	古風な宮座の神事 天髪王神社のトヤワタシ	民俗遺産	矢走	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
26	オンリーワン!の狛犬 天髪神社	名所遺産	持尾	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
27	鐘の音色は姫の声 正覚寺の梵鐘	もの遺産	芦原	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
28	500年続く龍神さまの記憶 畑屋の湯釜	もの遺産	畑屋	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
29	うったきさんへ牛つれて 牛滝まつり	民俗遺産	馬佐	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
30	みこしに乗って夏祭り 水神祭	民俗遺産	下渚	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
31	弥生人が入っています 常門遺跡の壺	もの遺産	越部	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
32	のぞいてびっくり 槇ヶ峯の古墳群	名所遺産	新野	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
33	北六田創村物語 毘沙門講の古文書	もの遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
34	吉野の原風景がみえる 岸田日出男の遺したもの	近現代遺産	北六田	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
35	伊勢と和歌山をつなぐ道 伊勢南街道のまちなみ	景観遺産	増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
36	あの山のむこうに伊勢がある 高見地蔵	名所遺産	西増	2018年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
37	お伊勢さんのおかげです おかげ灯籠	民俗遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
38	目で見ると阿弥陀さんの世界 観経曼荼羅	もの遺産	中増	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
39	受け継がれる伝統の技と志 茶の里・増	わざ・景観遺産	中増・増口	2018年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
40	弘法大師も筆を投げたり 筆捨岩	自然	佐名伝	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

2016～2018年度おおよど遺産リスト

No.	名 称	分 類	地 域	選定年月日	備 考
41	蔵王権現を守り伝える 今木権現堂と安養寺	名所	今木・中増	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
42	建皇子の物語 保久良古墳と女帝の歌碑	名所	今木	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
43	洞川から吉野口へ 大峯索道の遺産	近現代	今木・大岩	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
44	愛宕山から矢がはしる 矢走城跡	名所	矢走	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
45	後世に伝えたい 安政の大地震の記録	もの	矢走	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
46	壺阪寺へ続く道 畑屋と北野の道標	名所	畑屋・北野	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
47	美しすぎる観音さん 観音寺	名所	桧垣本	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
48	さくらが丘の風ひかる 巨樹と桜の並木道	景観	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
49	「一の行場」の大五輪塔 石塚遺跡	名所	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
50	蓮如、吉野で人生を詠う 光明寺	名所	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
51	時代をこえて 下市口の風景	近現代	下湊	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
52	舟から橋へ 三つの渡しと近代橋	景観	下湊・越部・北六田	2019年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
53	吉野の水よ清らかに ケヤキと水取り神事	自然・民俗	土田	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
54	梨木仏と「岡堂」の伝承 越部古墳	名所	越部	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
55	太子信仰の遺産 世尊寺太子堂とおたいっさん	名所・民俗	比曾	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
56	蘭学のDNA 前田家文書	もの	西増	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
57	アイデア野菜でツクリモノ 西増・増口の地蔵盆	民俗	西増・増口	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
58	あかい石が支えた地域産業 比曾石	もの	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
59	ふるさとの智慧と味 柿の葉ずしを作ろう	わざ	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
60	語り継がれる秘話 龍門騒動の記憶	もの	大淀町内各地	2019年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分

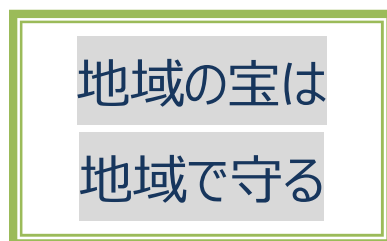
## このパンフレットを手にとっていたいただいた皆様へ

大淀町では、2016年度に策定した、「大淀町地域遺産保存・活用制度」実施要綱にもとづき、町内各地域にのこされた様々な遺産（地域遺産）のなかから、とりわけ魅力あるストーリー（物語）をもつものを、有形・無形を問わず「おおよど遺産」として選定し、地域住民と行政が協働でおこなう保存・活用を目指しています。

このパンフレットでは、大淀町が町内各区・自治会の推薦をうけ、大淀町地域遺産会議での審議等をへて、2019年度に選定した20件の「おおよど遺産」を紹介しています。

「おおよど遺産」は、大淀町内各地の歴史・文化を特徴づけるとともに、地域住民の心のよりどころとして、また、大淀町を訪れる人々にも、地域に愛着を感じていただくきっかけとして、そして、地域文化を持続させ、次世代へとつなぐ記憶のバトンとして活かされることが大いに期待されるものです。

これからも、大淀町が推進する、「おおよど遺産」を活かした地域文化の保存・継承と活性化事業に、皆様のご理解とご協力をたまわりますよう、お願いいたします。



<大淀町地域遺産保存・活用事業>

編集・製作 大淀町・大淀町教育委員会

2020年3月

〒638-0812 奈良県吉野郡大淀町桧垣本 2090 番地

大淀町地域遺産会議事務局（大淀町教育委員会）

電話：0747-54-2110 ファックス：0747-54-2112